

## 研究講習事業報告

学発番号： 学23-032  
事業名： 令和5年度 京臨技病理細胞検査精度管理報告会ならびに病理細胞検査研修会 (Web研  
日 時： 令和6年1月28日(日) 13:00～16:00  
場 所： Web開催  
主 題1： 病理検査精度管理報告と解説  
講 師1： 陣内 慶大 技師(京都大学医学部附属病院)  
主 題2： 細胞診検査精度管理報告と解説  
講 師2： 澤谷 友香理 技師(明治国際医療大学附属病院)  
主 題3： 免疫組織化学染色の精度管理  
講 師3： 延崎 亮 氏(アジレント・テクノロジー)  
参加数： 総数:28名(京臨技会員:26名)  
報告者： 二宮 慶太(京都桂病院)

### 以下、講演内容など

前半は精度管理結果報告と解説を行いました。病理検査は、免疫組織化学染色(TTF-1)を実施しました。未染色スライドを配布し各施設で染色された標本を回収しました。判定は班員及び判定会議に参加希望のあった施設代表者で行い、Whole slide imagingスキャナーを用いリモートで施設名を匿名化し供覧しました。23施設より標本を回収し評価を行いました。23施設全てがA評価であり、良好な染色が実施されていました。細胞検査では、日常業務にて遭遇する可能性の高い症例や特徴的な細胞所見を有する症例15例と、知識の確認・向上が目的の教育的症例(評価対象外)を2例、バーチャルスライドを用いた1例(評価対象外)の計18例を出題し、提示写真から回答するフォトサーベイを実施しました。正答率の評価基準を80%とし、良悪の判定と組織型の推定が出来る事を目的としました。参加施設は27施設で、15問の全体正解率が98.8%、施設別正答率は98.7%で良好な結果と考えます。バーチャルスライドに関して様々なご意見をいただきましたので、来年度の参考にさせていただきたいと思います。後半は、アジレントテクノロジー株式会社延崎亮氏により「免疫染色の精度管理について」と題し、プレアナリシスからポストアナリシスまでの内容についてや、染色性の評価について分かりやすく講演いただきました。今後も京都府下の施設における染色技術の習熟と向上に努めていきたいと思っております。大変多くの知識を得ることができた有意義な報告会ならびに講演会でした。